

## 労働衛生、健康づくり等の最近の動向

◆日時：2023年1月14日（土）14時～17時15分

◆講師：中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター

健康快適推進室 上席専門役 平岡 正弘 氏

◆開催方法：ZOOMによる開催

\*申し込み受付者に、後日、ミーティングID、パスワードを送付します。単位が必要な方は、終了後簡単な受講報告の提出をお願いします。

◆受講料：会員2,000円、一般3,000円

◆単位：2単位申請中

中災防の平岡正弘先生には、たびたびご講演をお願いしておりますが、前回（令和3年6月）は、パワーハラスメント防止対策とTHP指針改正の内容について主にお話いただきました。

今回は、その後の環境変化や行政の動向についてお話を伺い、われわれ心理相談員に求められているものは何かについて考えていきたいと思えます。また、ストレスチェック制度が実質6年目に入っていますが、その現状と課題について、さらには、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、どのようなことに気を付けていけばよいのかについてもご教示いただきます。

### 【講師からのメッセージ】

平成27（2015）年12月1日、労働安全衛生法を改正し、働く人のメンタルヘルス不調を未然に防止するためのストレスチェック制度が施行されて以来6年が経ちました。メンタルヘルスへの意識向上や、職場環境改善の実施により働く人のストレス反応が改善する等の効果が確認される一方で、課題があることも明らかになっております。労働衛生・健康づくりの行政の動向と合わせまして、ストレスチェックの活用について、改めまして皆さんと一緒に考えてみたいと考えております。

### ～講師プロフィール～

1960年（S35）8月22日生。1983年（S58）中央労働災害防止協会入職。ヘルスケアトレーナー、心理相談員として活動。現在、中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター健康快適推進室上席専門役。中災防・大阪センター主催の研修会運営に従事するとともに、主に西日本地区を中心に、年間150件程のセミナー・講演会に出向き、活躍中。